

## 4. 記念シンボルマークについて

### (1) 主旨

「まちびらき 50 年」は大勢の人たちによって祝われるべきであり、実行委員会以外が主催する各種イベントとも一体になって、この節目が盛り上がっていく仕掛けが必要だと考えました。実際に、自治会・商店・学校関係・企業など、各主体によるさまざまな「記念事業」の計画が進んでいました。そこで、皆で使える記念のシンボルマークを制定することとし、さらに公募手法をとり入れることによって、「今年がまちびらき 50 年ですよ！」という前宣伝にすることをあわせて狙いました。これは限られた予算とマンパワーで、できるだけ大きく「まちびらき 50 年」を見せるための工夫でもあったのです。

### (2) シンボルマーク決定の経過

千里内外から広く知恵を集め、「委員会の思い」「市民の声」「プロの目」が反映されるよう、審査には3つの方法を組み合わせました。

#### (公募期間)

2012年（平成24年）4月9日～5月13日にかけて、市報、ネット、地域メディア、雑誌「公募ガイド」を使って公募を行い、全国から363点もの応募がありました。

#### (一次審査)

2012年（平成24年）5月26日（土）、事務局会議の場で一次審査を行いました。

まず、全応募作品363点を床に並べ、募集の趣旨にかなっているかどうかを基準に、約30点を選定しました。次いで、より趣旨にかなない、優れていると思われるものを10点選びました。

それぞれに千里ニュータウンの特性を活かした優れた作品が多かったことから、選考の過程ではいろいろな意見が出ましたが、具象／抽象、先進性／親しみなどのバランスも考慮し10点を選びました。



#### (市民投票)

##### ●街頭での投票

千里中央、北千里、南千里の街頭で10作品を貼ったボードを持ち、「千里ニュータウンのシンボルマークを選んでいきます」「シールを貼って投票に参加して下さい」と呼びかけました。シールを貼るという単純な方法が良かったのか、小さな子どもも含め、予想を大きく上回る1,500



近くの投票がありました。

- ・2012年(平成24年)6月2日(土)…千里中央、南千里
- ・2012年(平成24年)6月3日(日)…北千里、千里中央

### ●ニュータウン内の公共施設での投票

千里ニュータウン内の三つの公共施設でも投票を実施し、こちらは500近くの投票がありました。この投票は無人体制で行ったため、組織票等による不正を防ぐため記名式としました。

- ・2012年(平成24年)6月1日(金)～7日(木)
- ・南千里地区公民館、北千里地区公民館、千里文化センター「コラボ」(以下コラボという。)



### (最終審査)

市民投票の結果を参考にしながら、6月24日の実行委員会でシンボルマークを決定しました。最終審査では、千里ニュータウン育ちで今もお住まいで、ロゴマーク等の仕事を多数手がけられているグラフィック・デザイナー、藤脇慎吾さんからも講評をいただき、青森県青森市・盛秀雄さん考案のデザインに決定しました。この案は市民投票でも最多得票を獲得したのですが、完成度やマークのコンセプトなど質的な面もあわせて討議し、最終決定にいたったものです。

このあと、原作者と委員会、藤脇慎吾さんで協議し、「使用ガイドライン」を作成し、市民の皆さんに広く使っていただける準備を整えました。

### (3) 入選作品

千里ニュータウンに暮らす人々、自然、住宅や街など、全体の円はニュータウンが緑地に包まれていることを示すと同時に、祝う人達の笑顔のつながり、このまちがずっとこれからも暮らしたいまちとして続いていくことへの願いをこめています。多彩な要素によるイメージの豊かさ、「50」の文字を大きくあしらったわかりやすさなどが、投票過程で多くの方の共感呼んだものと思われまます。



カラー

プロセスカラー



C. 60	R. 111
M. 0	G. 186
Y. 100	B. 44
K. 0	

プロセスカラー



C. 100	R. 0
M. 0	G. 135
Y. 100	B. 60
K. 20	



モノクロ

プロセスカラー



C. 0	R. 137
M. 0	G. 137
Y. 0	B. 137
K. 60	

プロセスカラー



C. 0	R. 89
M. 0	G. 87
Y. 0	B. 87
K. 80	